

介護現場における生産性向上推進フォーラム

# 青森県の取組

令和8年3月2日（月）

青森県 健康医療福祉部 高齢福祉保険課

The 80th JAPAN GAMES

The 25th National Sports Festival for People with a Disability



AOMORI



スポーツを「する」「みる」「ささえる」  
さあ、みんなで盛り上げよう！

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ

翔ける未来へ縄文の風に乗って

会期	国スポ冬季大会	2026年 1月31日(日)～2月17日(日)
	国スポ本大会	2026年 10月10日(日)～10月20日(日)
	障スポ	2026年 10月23日(日)～10月26日(日)

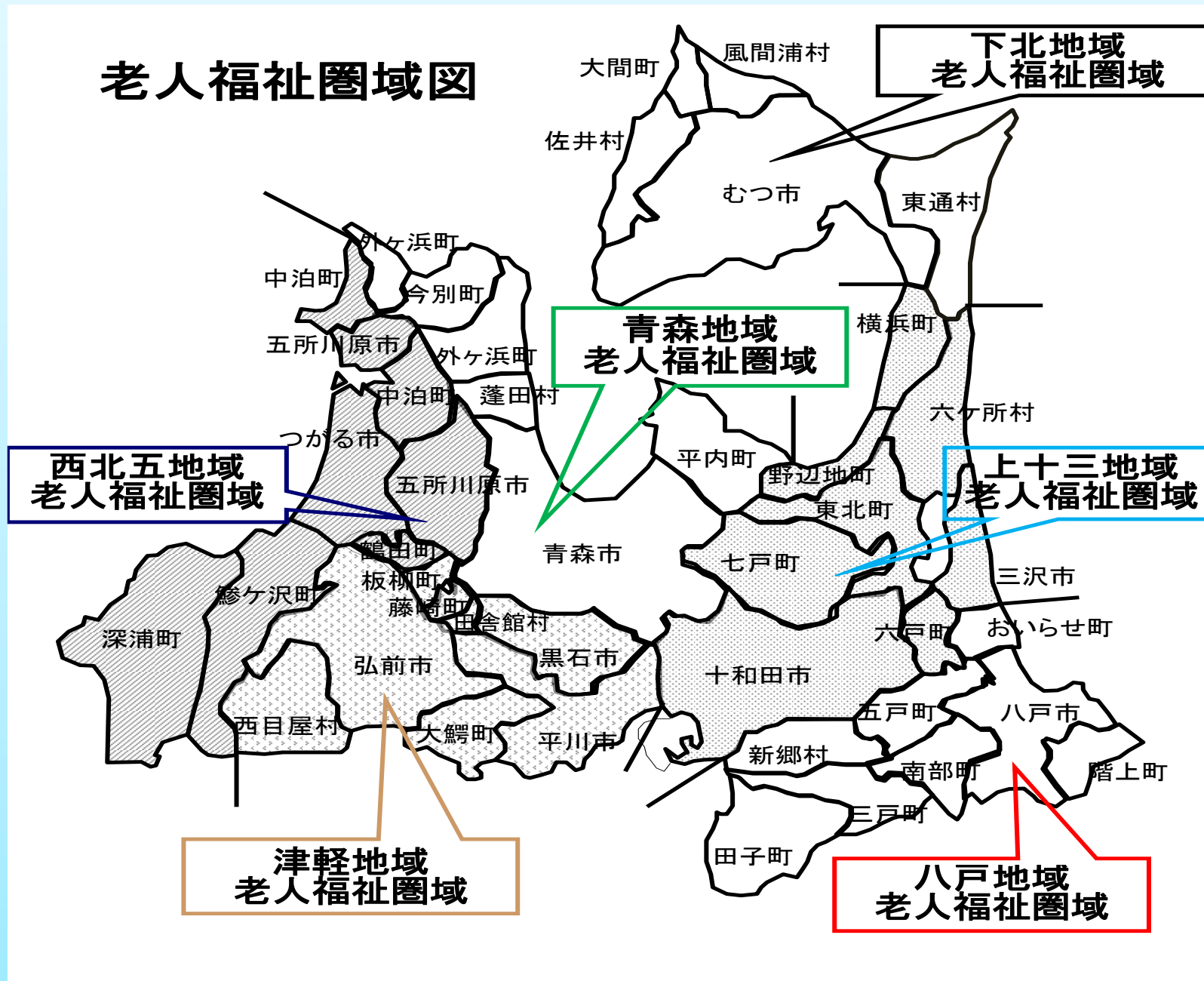


・本州最北に位置する。北海道と青函トンネルでつながる津軽半島と「まさかり」と呼ばれる下北半島の二つの半島が特徴。三方を海に囲まれ、奥羽山脈が県内を二分しているなど、海域や地形が複雑。県内の東と西で気候が大きく異なる。

・人口は、令和2年10月1日現在で、1,237,984人（全国で31番目、東北6県で3番目）

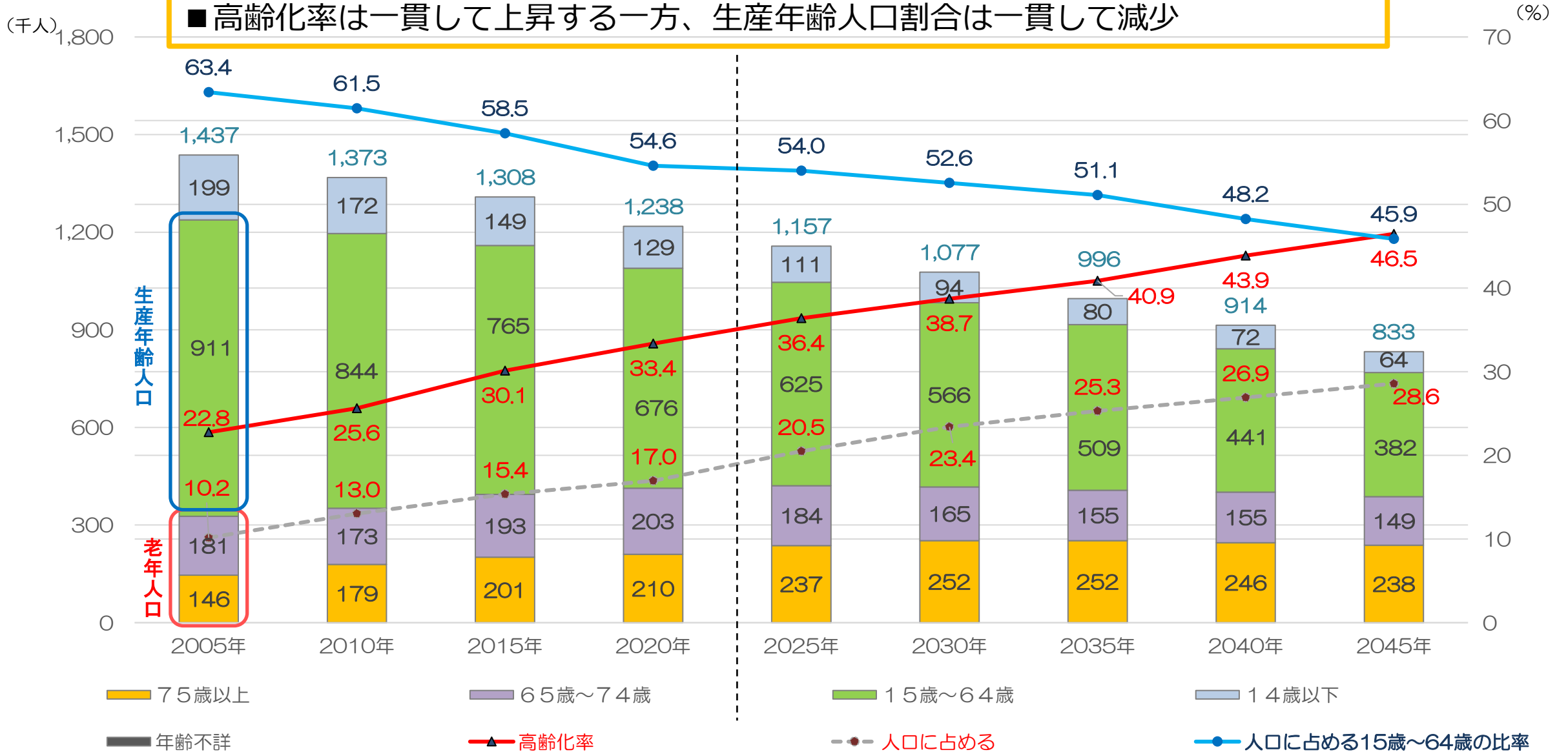
・40市町村（10市、22町、8村）

## 老人福祉圏域図



# 青森県人口推計

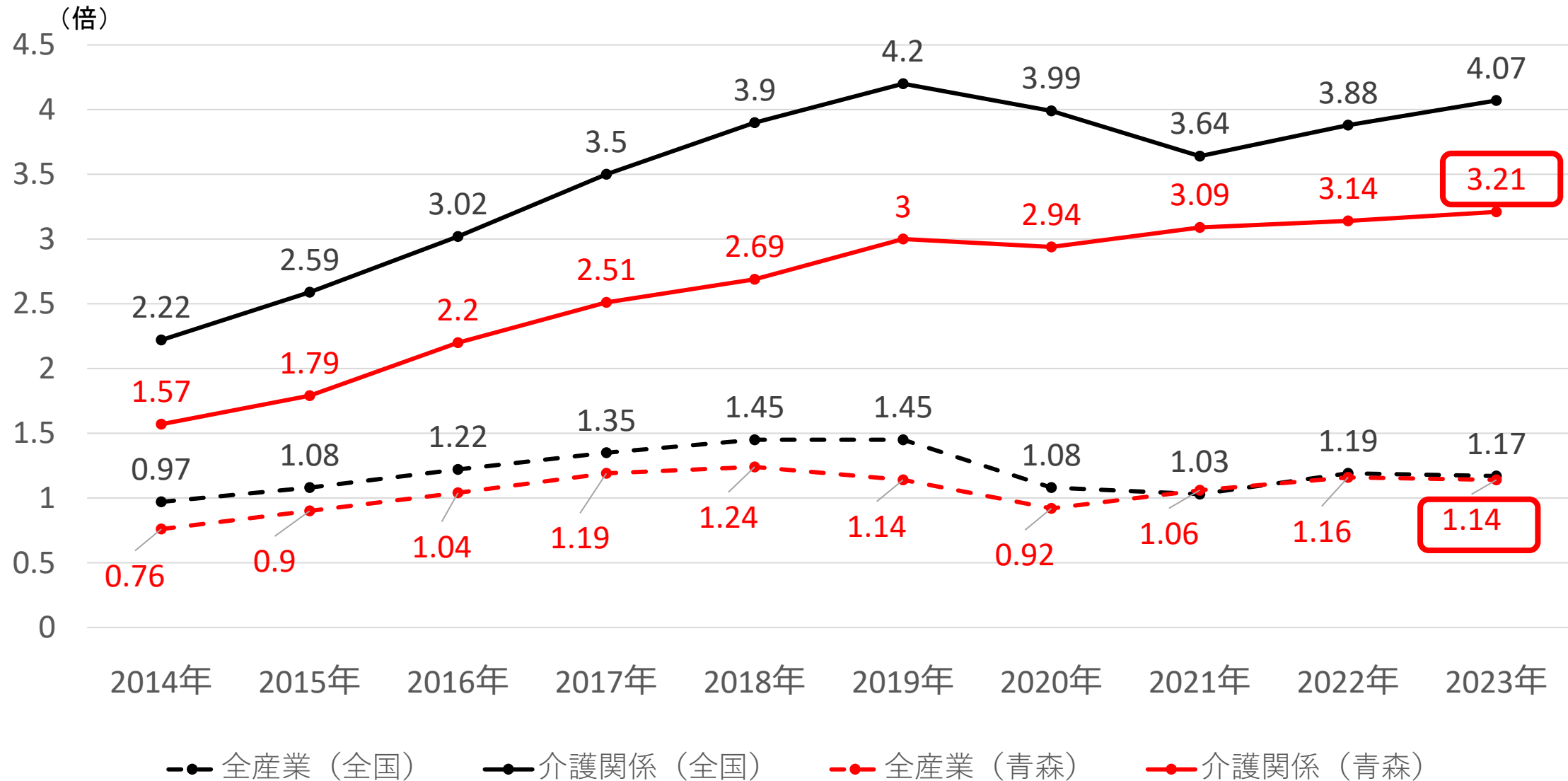
■ 高齢化率は一貫して上昇する一方、生産年齢人口割合は一貫して減少



資料 2005年～2020年まで国勢調査  
 2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

# 有効求人倍率

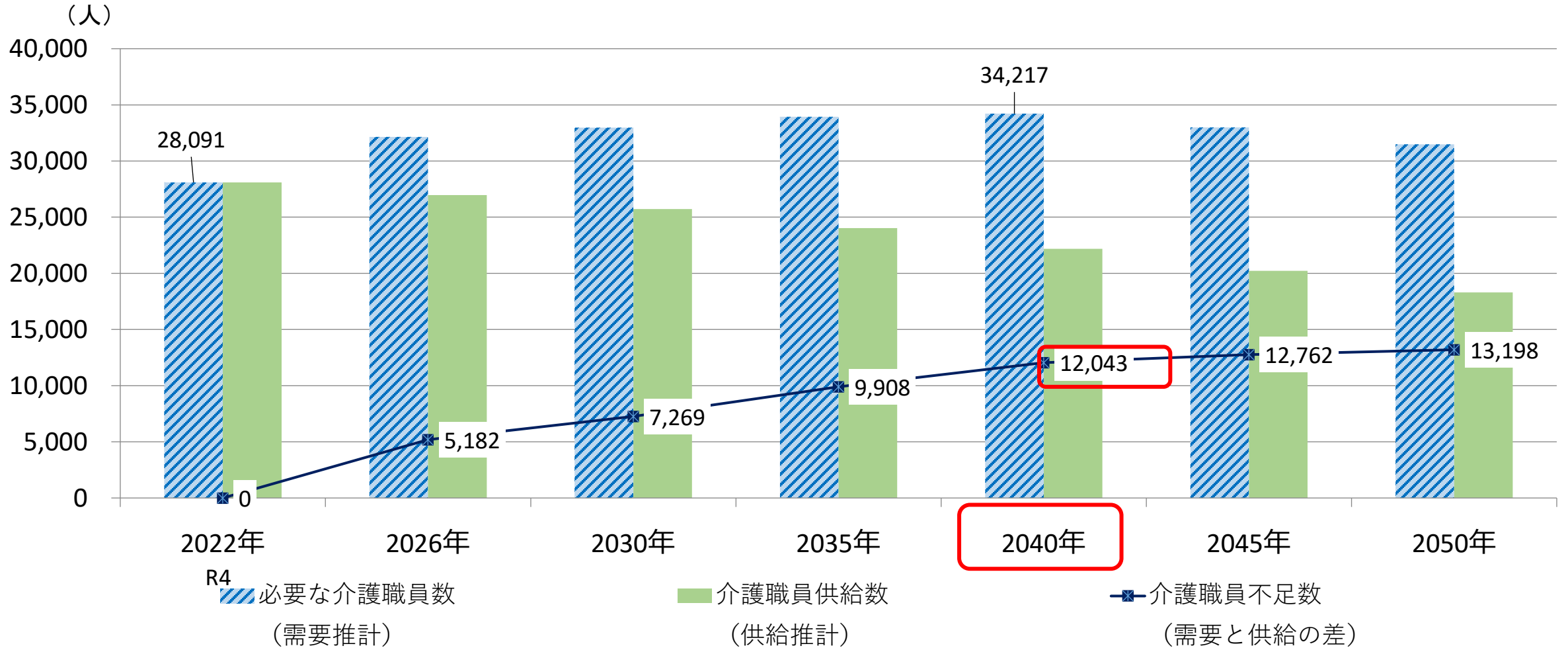
■ 本県の介護関係の有効求人倍率は全産業の約2.8倍。全国は約3.5倍。



資料：厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」

# 青森県介護職員需給推計

■ 団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には、約1万2千人の介護職員が不足



資料：厚生労働省「介護人材需給推計ワークシート」

※厚生労働省が作成した「介護人材需給推計ワークシート」を用いて推計。2022年の介護職員数を基準としているため、グラフ上は2022年の需給数が均衡しているが、実際は有効求人倍率は3倍近くまで上がり、多くの事業所で人手不足と感じている状況。

# 介護人材確保対策の取組

## 介護の仕事の普及啓発、介護現場への就労につなげる取組、外国人介護人材の受入れ環境整備

### ○福祉人材センターの運営

- ・福祉人材無料職業紹介事業
- ・福祉施設体験講習会、就労体験
- ・社会福祉従業者・経営者に対する研修

### ○福祉・介護人材確保対策事業

- ・一般の方向けの介護体験セミナーや職場体験、学校訪問による福祉介護のPR
- ・福祉人材センター求職登録者等への初任者研修費用助成
- ・潜在的有資格者に対する研修や職場体験
- ・福祉介護人材のキャリアパス、スキルアップ促進のための研修
- ・「介護助手」受入促進のための周知、広報、受入事業所への支援
- ・介護職員の育児支援サービス利用に対する補助

### ○福祉・介護人材マッチング機能強化事業

キャリア支援専門員による求職者からの相談対応、求人事業所の開拓、合同面接会の実施

### ○介護人材発掘育成事業

介護人材掘り起こしのため介護未経験者等への入門的研修(介護助手講習)の実施

### ○介護人材育成認証評価制度事業

介護人材の育成・処遇改善、サービスの質の向上に取り組む介護事業所を認証(委員会、認証審査、セミナーの開催)

### ○介護人材確保のための福祉・労働施策連携体制強化事業

関係者による訪問介護の人材確保に特化した魅力発信事業の検討、訪問介護事業合同説明会、訪問介護魅力発信セミナー、出張ミニ相談会の開催

### ○外国人介護人材獲得強化事業費補助

海外現地の送り出し機関等との連携強化

### ○外国人留学生奨学金給付等支援事業費補助

留学生に対する生活費の給付

### ○訪問介護等サービス提供体制確保支援事業

訪問介護事業所が、研修や人材確保体制の構築、経営改善に向けた取組に要する経費を補助

## 介護職員の負担を軽減し、生産性を向上させ、定着を促進

### ○介護生産性向上推進総合事業

### ○介護テクノロジー導入支援事業

### ○あおもりノーリフティングケア推進事業

### ○新介護職員応援イベント

離職防止のための、新介護職員を対象とした交流会の開催

### ○介護職員処遇改善加算取得促進特別支援事業

処遇改善加算取得促進のため、制度の周知・広報、事業所に対する助言指導

### ○外国人介護人材定着支援事業

コミュニケーション支援・生活支援への補助

### ○介護事業所内保育施設運営費補助

事業所内保育施設の運営に要する経費を補助

## 就労年数や資格、役職等に応じた知識や技能の習得を促進

### ○介護福祉士修学資金等貸付事業

介護福祉士養成施設等修学にかかる修学資金や離職した介護人材に対する再就職準備金等の貸付

### ○介護人材キャリアアップ研修支援

アセッサー講習受講支援、キャリア別研修

### ○外国人介護福祉士候補者学習支援事業費補助

EPA介護福祉士候補者に対する学習支援

介護人材の確保定着を実現



## あおもり介護生産性向上相談センターの主な事業内容

相談・伴走支援	展示・貸出	広報・調査
生産性向上に係る 相談対応	テクノロジー 常設展示	各種セミナーの開催
事業所への伴走支援	巡回展示 (介護テクノロジー展)	HP等による情報発信
補助金申請・報告受付	介護テクノロジー等 試用貸出	アンケート調査 (取組定着・普及促進等を目的)

# 主な事業の実績(令和7年12月末現在)

相談件数	285件
伴走支援事業所数	3事業所
常設展示場来場者数	126人
巡回展示来場者数 ①5地区テクノロジー展 ②その他(就職フェア・福祉大会等)	515人 (①322人、②193人)
テクノロジー貸出件数	31件
セミナー回数及び受講者数 (巡回展示併催セミナー含む)	実施回数：7回 受講者数：549人

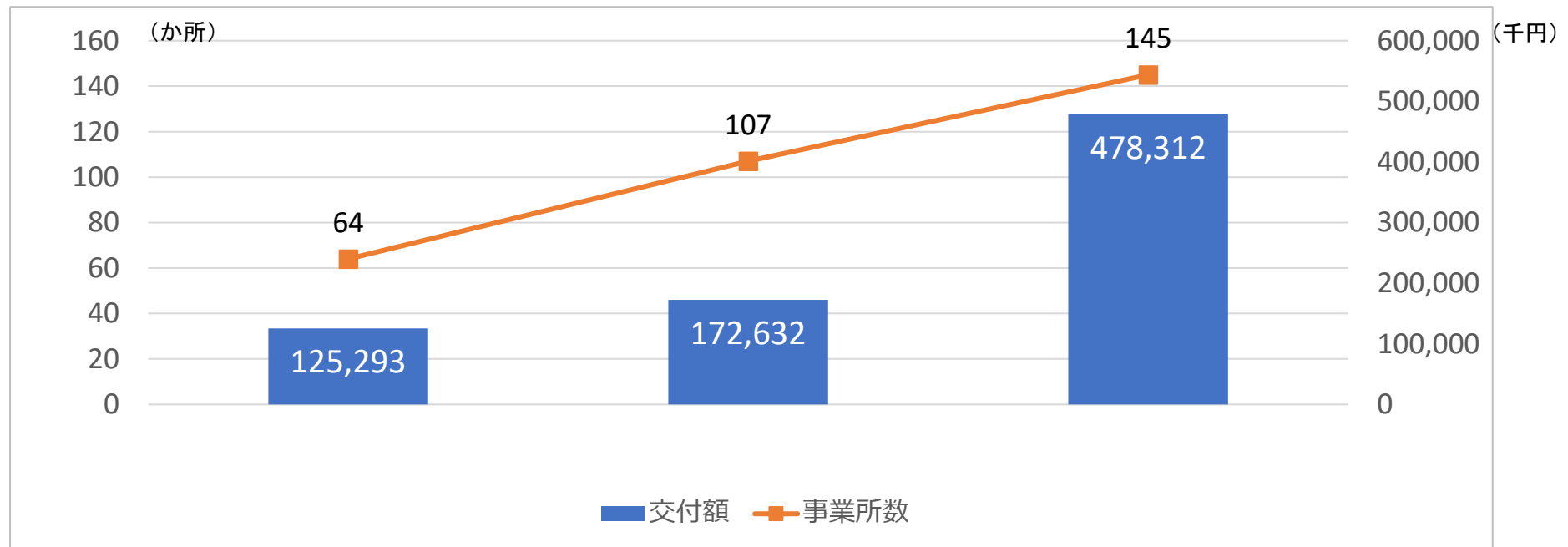


# 介護テクノロジー（介護ロボット・ICT）導入支援

介護従事者の身体的負担や介護記録・情報共有・報酬請求等の業務の効率化を目的とした介護テクノロジーの定着を支援するとともに、介護サービスの質の向上を図るため、導入経費の一部を支援する。

令和4年度		令和5年度		令和6年度	
64か所	125,293千円	107か所	172,632千円	145か所	478,312千円

※左欄は事業所数、右欄は交付額



# 介護事業所が業務改善に取り組むためのコンサル経費に対する支援

介護事業所が、厚生労働省作成「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき、知識・経験を有する第三者（業務改善支援事業者）の支援を受けて職場環境の改善を図った場合、その経費に対して補助する。

R6年度 交付申請なし

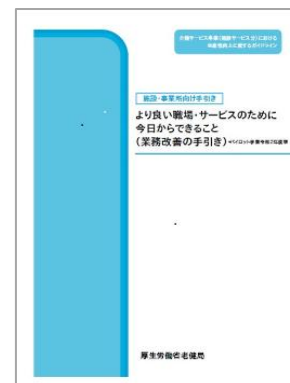
R7年度 交付決定 9事業所 計 854千円

厚生労働省のガイドライン

居宅系サービス用



施設系サービス用



# 介護事業所の協働化・大規模化等による職場環境改善に係る支援

小規模法人（1法人当たり1の施設又は事業所のみを運営するような法人等。）を1以上含む、複数の法人により構成される事業者グループが協働して行う取組に対する支援等を通じて、経営の安定化に向けた協働化・大規模化等による職場環境の改善に資する取組に要する経費を補助する。

R6年度 交付申請なし R7年度 交付申請なし

# 青森県介護現場課題解決会議

## 設置目的

介護現場の課題解決、生産性向上等に取り組むため、関係団体と協力し、地域における課題や取組等を踏まえた事業を推進することを目的に設置。

- (1) 介護サービスの質の維持・向上、介護人材の確保・定着等、地域における介護現場の課題に即した対応方針を策定すること。
- (2) 対応方針に基づき、支援の内容や事業所について協議を行うこと。
- (3) 介護事業所の生産性向上に係る取組の推進に関する情報共有、意見交換、連携及び協議を行うこと。
- (4) 介護人材確保・定着等に関する意見を交換すること。

## 開催状況

<R4> R5.1 介護現場課題解決会議について

<R5> R5.7 第1回 基本方針検討

R5.10 第2回 基本方針検討、事業所調査の実施について

R5.12(書面) 第3回 基本方針最終案、  
伴走支援モデル事業所の選定、センターの開設

<R6> R6.12 事業所調査結果、伴走支援モデル事業所実施報告

<R7> R7.7(書面)

伴走支援モデル事業所の選定

R8.1

伴走支援のモデル事業所の選定方法  
KPIの設定

# 青森県介護現場の課題解決に向けた取組基本方針 概要

## 目指す姿

- 「利用者・家族が安心して笑顔で日々を過ごせる」介護現場
- 「職員一人一人が誇りをもって、安全・安心に働ける」介護現場

## 青森県の介護現場



## 将来の厳しい現実

- 高齢化の進展、生産年齢人口の減少
- 介護需要は増え続ける一方、**介護人材は確実に減少する**

## 課題

- 人材確保（獲得・定着）
- サービスの質の担保



- 「生産性向上」

= 人手不足を乗り越えて、より職員の負担少なく、より質の高いサービスを提供し続けるための取組

## 【生産性向上とは…】

生産性

||

アウトプット  
【産出量】

インプット  
【（労働）投入量】

- 分子（**アウトプット：産出量**）が増えるか、分母（**インプット：投入量**）が減ると、生産性が向上

- 利益・売上と狭く捉えなくてもいい
- **サービスの質の向上**もまたアウトプットの増加 = 生産性向上といえる

- 人が減っても同じ量・質のサービスを提供
- 同じ人数でもより少ない負担で同じサービス提供 = いずれも生産性向上といえる

⇒ 生産性向上のための課題もやるべき取組も、事業所ごとに千差万別

⇒ 経営・管理層、職員みな**必要性を「腹落ち」**した上で**現場発の取組**を

サポート  
・後押し

行政

関係団体

## 介護生産性向上に係るKPI

項目	現状値	目標値
ICTや介護ロボットを導入している介護事業者の割合	R7年6月末 32.7%	R8年 50%
あおり介護生産性向上相談センターで受け付けた相談対応件数	R6年度 161件	R8年度 427件
生産性向上の取組等に関するセミナーの受講者数	R6年度 533人	R8年度 555人
「生産性向上に資するガイドライン」で示す業務改善に取り組んだ介護事業所の割合	R6年度 55.8%	R8年度 60%
伴走支援を行った介護事業所が引き続き生産性向上や業務改善に取り組んでいる事業所の割合	—	100%
生産性向上推進体制加算（Ⅰ・Ⅱ）を取得している事業所の割合	R6年度 10.9%	R8年度 全国平均以上
ノーリフティングケアに取り組んでいる事業所の割合	R6年度 特養護：70.2% 老人健：42.9% GH：31.0%	R8年度 80%

# あおもりノーリフティングケア推進事業

## 内容

介護職員の身体的負担の軽減、働きやすい職場環境づくりに向けて、ノーリフティングケア（介護する側・される側双方に優しく、安全で安心な「持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア」）の導入を県内各施設・事業所において普及、推進する。

## 取組状況

○令和元年度から令和6年度までに、ノーリフティングケアを実践するための研修を受講。

→ モデル推進施設として、37事業所が参加

○令和7年度は、以下の取組を実施

(1)あおもりノーリフティングケア推進研究会設置（施設代表者、学識経験者、職能団体等）

(2) 指導者養成 研修への派遣等

(3) 意識改革と体制づくり(組織を管理者と職員の両面から動かす)

①管理者向け研修（職場の労働安全衛生という視点を踏まえて、必要性や期待される効果を伝える。）

②事業所リーダー職員向け研修（力任せの介護が職員や利用者にも及ぼす影響をしっかりと認識した上で、正しいケア技術の習得や職場における課題分析と改善手法の検討を行う）

③ノーリフティングケア推進施設（37事業所）による横展開の取組

・各圏域において普及・推進活動を行う。

# あおもりノーリフティングケア推進法人と主な事業所の所在地

## 6年間で37推進法人

### ★令和元年度推進法人：5ヶ所

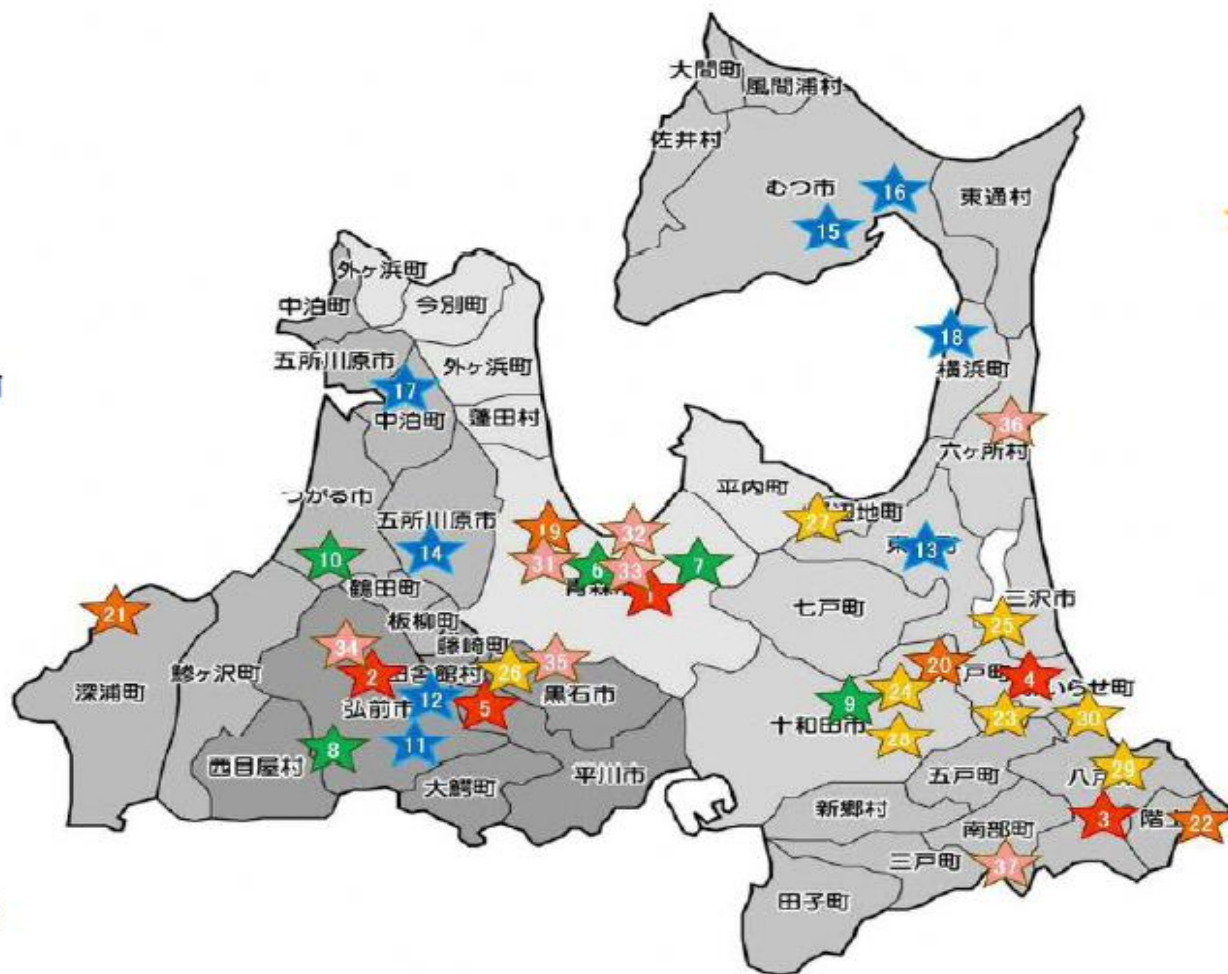
- ① (福) 平元会 / (特養) 正寿園
- ② (医) サンメディコ / (老健) ヴィラ弘前
- ③ (福) スプリング / (特養) 福寿草インスプリング
- ④ (福) 奥入瀬会 / (特養) 百石荘
- ⑤ (福) 緑風会 / (特養) 緑青園

### ★令和2年度推進法人：5ヶ所

- ⑥ 青森保健生活協同組合 / 看護小規模 ひまわり
- ⑦ (福) 和幸園 / (特養) 和幸園
- ⑧ (福) 津軽富士見会 / ケアセンター弘前
- ⑨ (福) みやぎ会 / (老健) とわだ
- ⑩ (福) 柏友会 / (特養) 桑寿園

### ★令和3年度推進法人：8ヶ所

- ⑪ (福) 嶽陽会 / (特養) 松山荘
- ⑫ (福) 愛成会 / (特養) 弘前静光園
- ⑬ (福) 秋葉会 / (特養) 彩香園アルテリーベ
- ⑭ (福) 若菜会 / (特養) あかね荘
- ⑮ (福) 桜木会 / (特養) 桜木園
- ⑯ (福) 青森社会福祉振興団 / (特養) みちのく荘
- ⑰ (福) 内潟療護園 / (特養) きりん館
- ⑱ (福) 貴望会 / (特養) なのはな苑



### ★令和4年度推進法人：4ヶ所

- ⑲ (福) 敬仁会 / (特養) 鶴ヶ丘苑
- ⑳ (福) 八甲田会 / (特養) 八甲荘
- ㉑ (福) 西寿会 / (特養) はまなす荘
- ㉒ (福) 徳望会 / (特養) 見心園

### ★令和5年度推進法人：8ヶ所

- ㉓ (医) 仁泉会 / (老健) しもだ
- ㉔ (福) 福祉の里 / (老健) みのり苑
- ㉕ (福) 楽晴会 / (特養) 栄町ぬくもりの家
- ㉖ (福) 報徳会 / 黒石特養
- ㉗ (福) 吉幸会 / (特養) 「野辺地ホーム」
- ㉘ (福) 至誠会 / (特養) 一葉園
- ㉙ (福) 友の会 / (特養) ほっとハウス
- ㉚ (福) 寿栄会 / (特養) 寿楽荘

### ★令和6年度モデル施：7ヶ所

- ㉛ (福) 桐栄会 / (特養) つるがさか
- ㉜ (福) 青森県すこやか福祉事業団 / (特養) すこやか苑
- ㉝ (福) 中央福祉会 / (特養) 勝田三思園
- ㉞ (福) 七峰会 / (特養) サンアップルホーム
- ㉟ (福) すみれ会 / すみれ特養
- ㊱ (福) 松緑福祉会 / (特養) ぼんてん荘
- ㊲ (福) 恵生会 / ショートステイ八幡のゆ

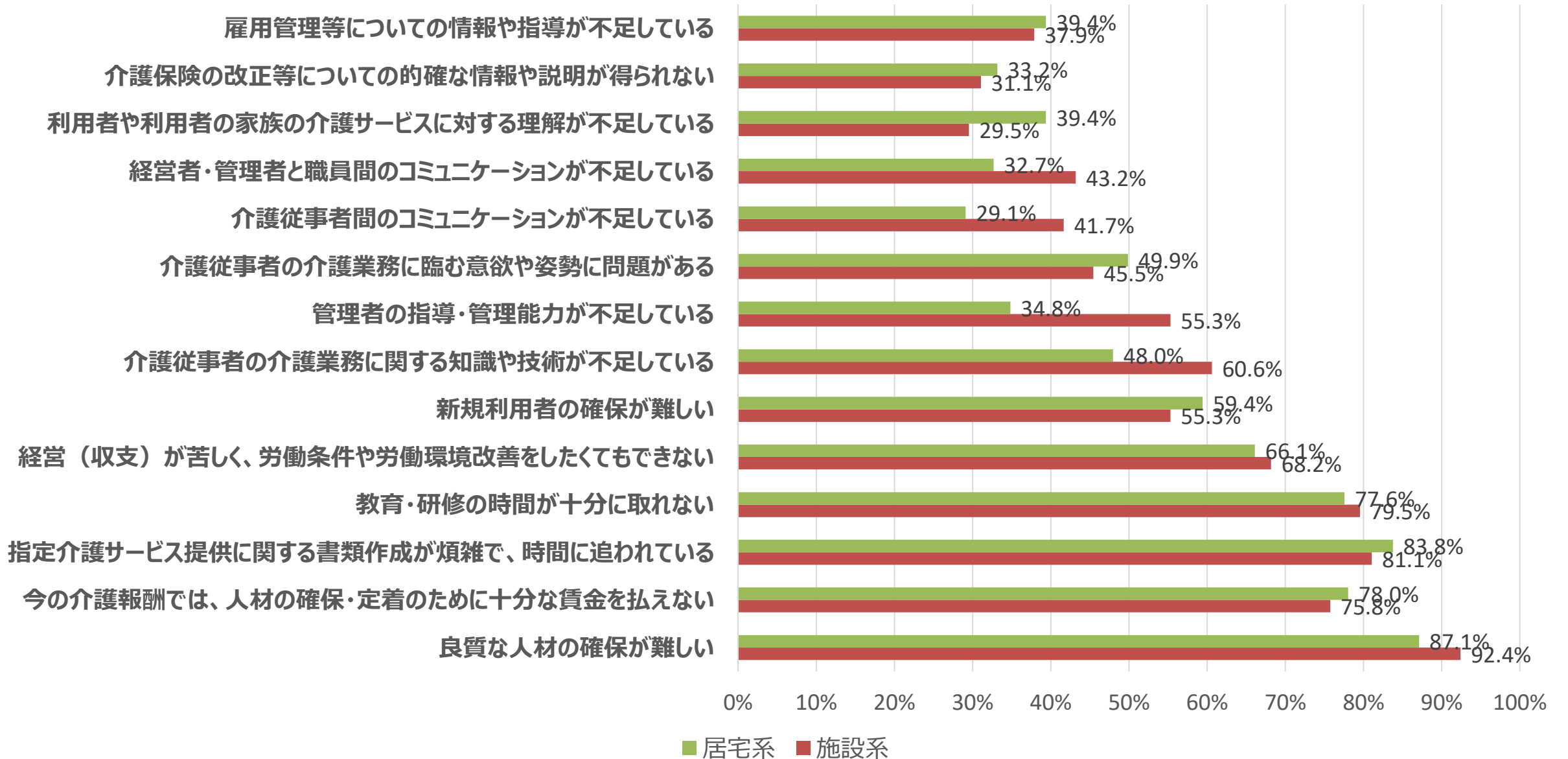
# 介護生産性向上取組に関する事業所調査

- ・ 調査時期：令和7年1月～令和7年2月
- ・ 対象：県内の介護サービス事業所  
(2,446事業所 施設系557、居宅系1,889)
- ・ 調査方法：インターネット
- ・ 回収状況：551事業所（施設系132 居宅系419）  
(回収率 22.5% 施設系23.7% 居宅系22.2%)

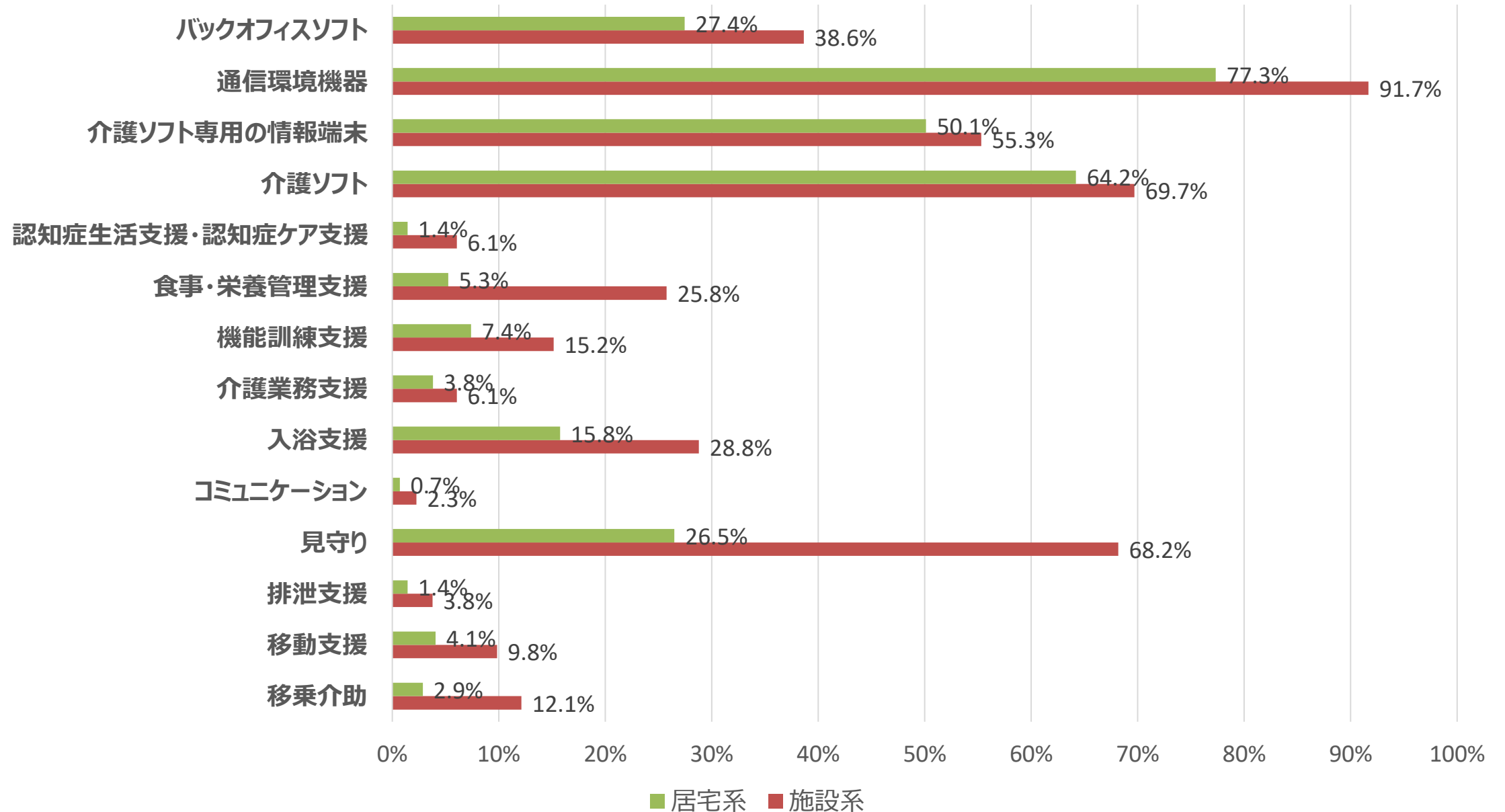
※施設系：介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、  
(介護予防)認知症対応型共同生活介護  
居宅系：上記以外

→ 生産性向上の取組状況の把握、取組の定着、普及促進等を目的に  
令和8年度も実施予定

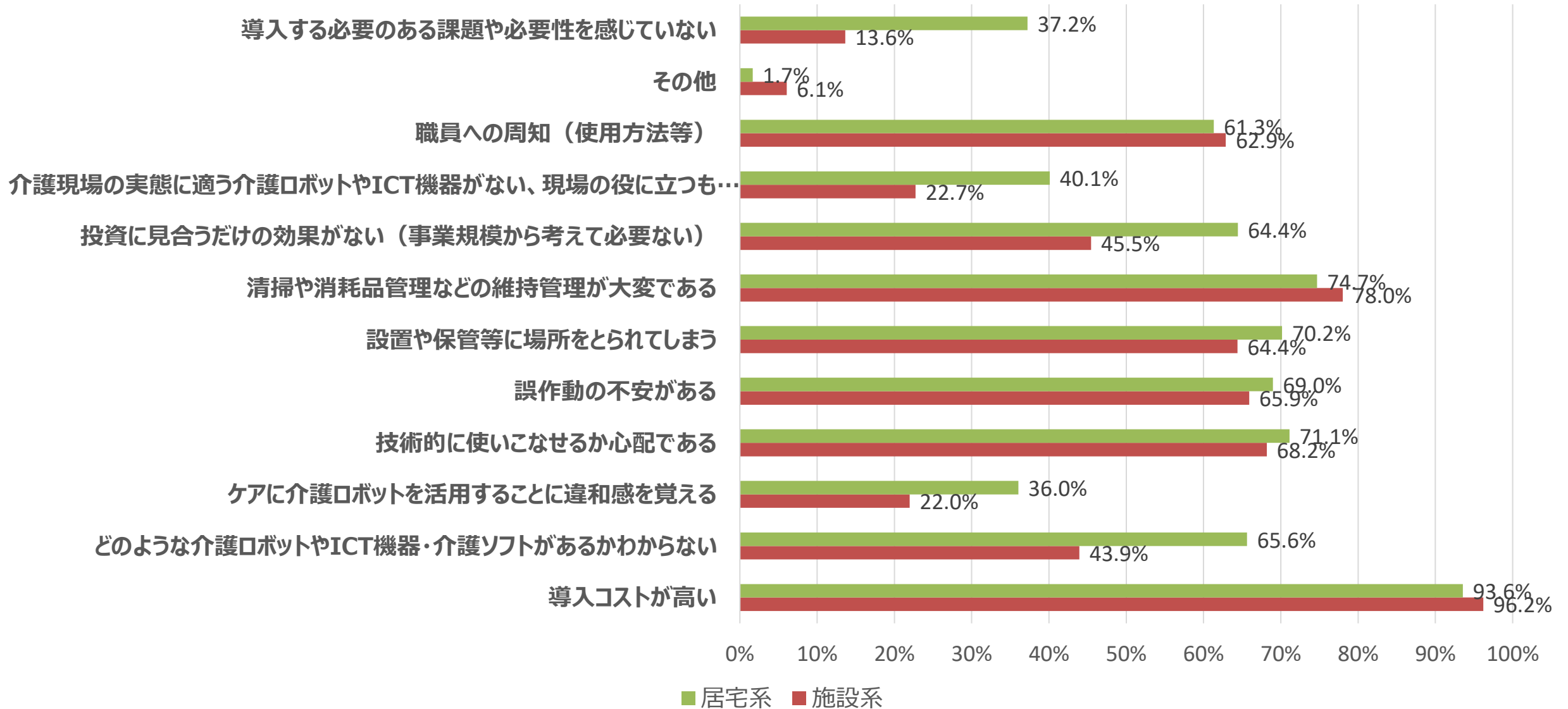
# (1) 介護事業所が抱える運営上の課題



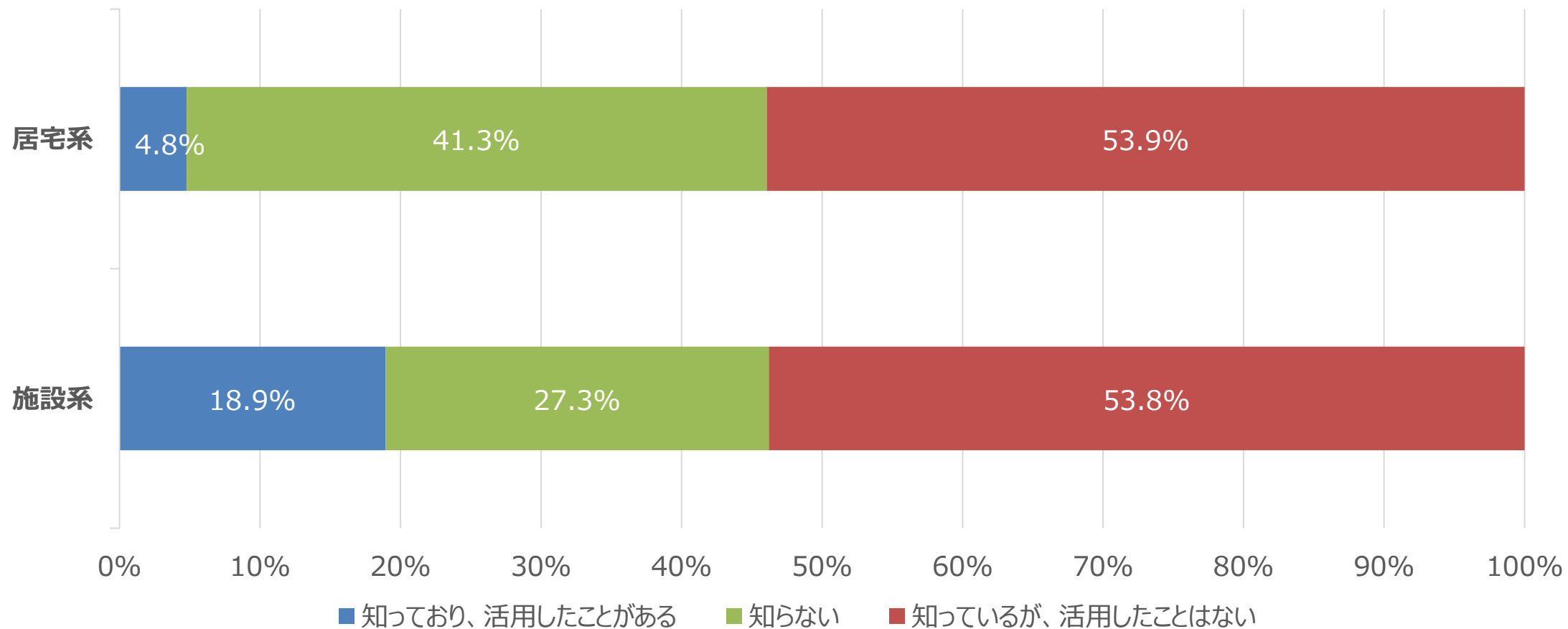
## (2) 介護ロボット・ICT導入状況について



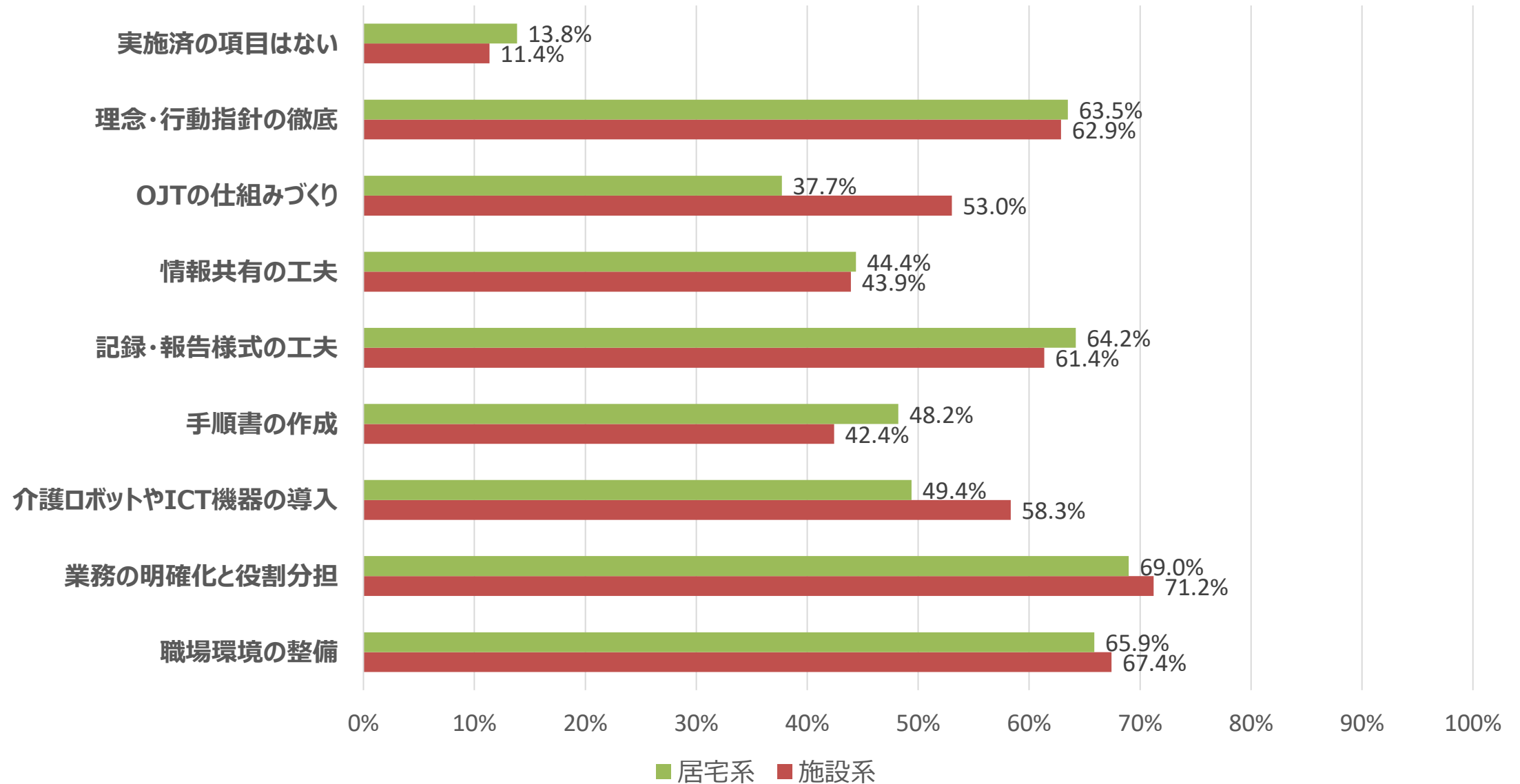
### (3) 導入の課題



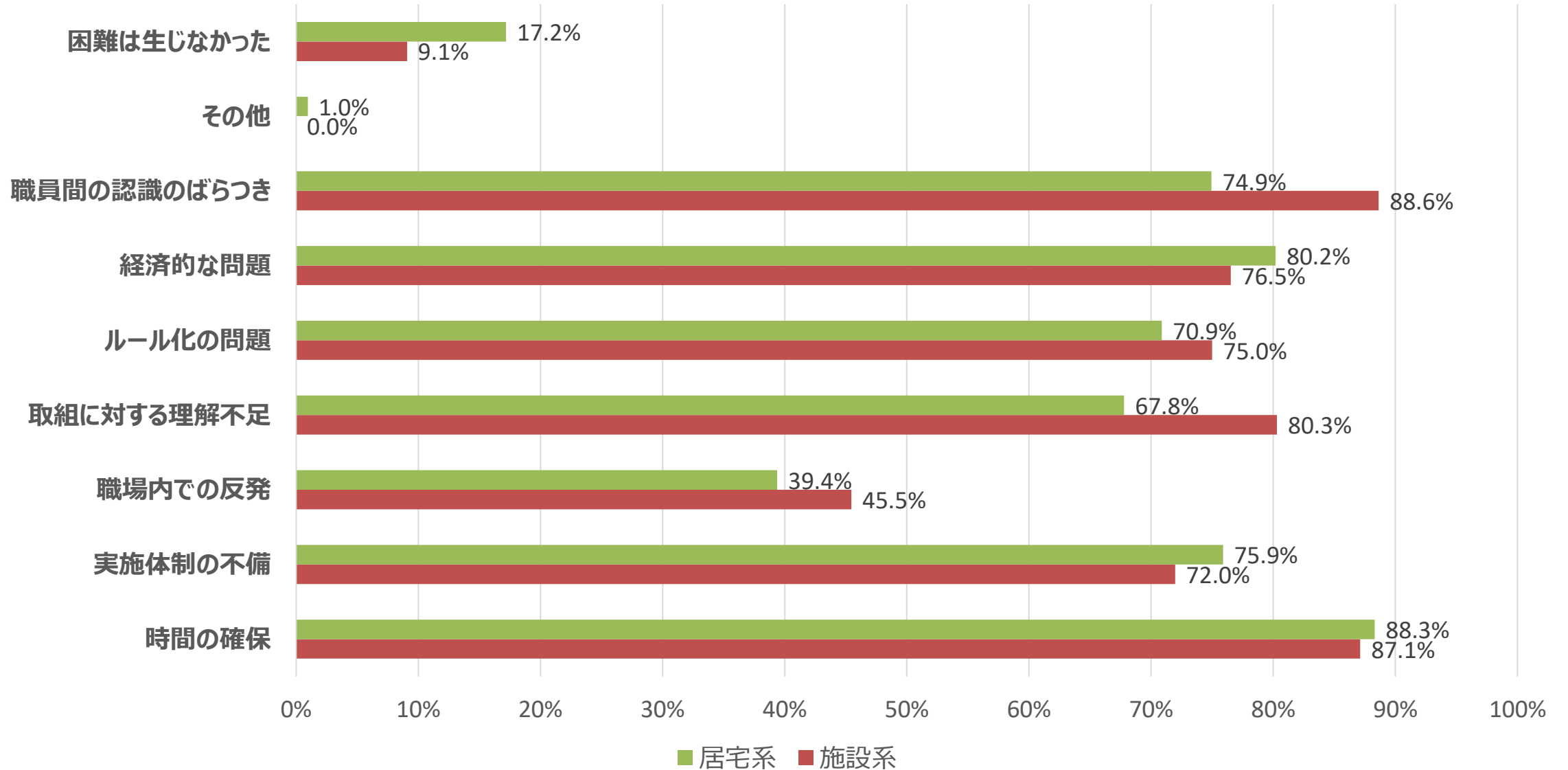
## (4) あおもり介護生産性向上相談センターについて



## (5) 生産性向上の実施済取組



## (6) 生産性向上取組当たっての(予想される)課題



## 取組への課題

- あおもり介護生産性向上相談センターの周知
- 業務改善につながる介護テクノロジーの活用
- 相談センターで実施する伴走支援モデル事業所の育成から横展開への方法
- 業務改善コンサル企業の情報不足
- 協働化・大規模化に向けた職場環境改善支援の活用

# The 80th JAPAN GAMES

The 25th National Sports Festival for People with a Disability

# 2026

# AOMORI



スポーツを「する」「みる」「ささえる」  
さあ、みんなで盛り上げよう！

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ

翔けろ未来へ縄文の風に乗って

会期	国スポ冬季大会	2026年 1月31日(日)～2月17日(日)
	国スポ本大会	2026年 10月10日(日)～10月20日(日)
	障スポ	2026年 10月23日(日)～10月26日(日)



# ご清聴 ありがとうございました



# あおもり 国スポ・障スポを



アップリート君

# よろしくお願ひします！